

(別記様式第3号)

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1178号	氏名	土谷 智史
論文審査担当者		主査教授	永安 武
		副査教授	田口 尚
		副査教授	伊藤 敬
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、急性炎症に対するカロリー制限の組織障害抑制効果について検討し、ストレス因子に対するカロリー制限の特異的なメカニズムを明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 本研究ではラットを自由摂食群とカロリー制限群に分け、各群のリポポリサッカライド(LPS)へのストレス反応を血漿中の炎症性サイトカインや細胞内シグナルを測定すると同時に、cDNA アレイを使用して障害肝の遺伝子解析を行っている。そしてこれらの評価項目を2群間で比較検討したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、カロリー制限群ではLPS投与に対する早期炎症反応を抑制することなしに肝障害が抑制され、急性期における蛋白融解性の遺伝子発現の低下と関連していることを示し、カロリー制限の組織障害抑制効果が構成的に発現している遺伝子産物によるものであることが示唆された。</p> <p>以上のように本論文はストレス因子に対するカロリー制限の特異的メカニズムを明らかにすることにより、加齢減少の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。